

12回	与薬の技術⑥	点滴静脈内注射を安全・安楽・正確に実施する技術を学ぶ。	川島、他	演習
13回	総合演習	事例の対象者に対して、これまで学んだ看護技術を安全・安楽に留意しながら自立に向けて援助する方法を検討する。	川島、他	演習
14回	排泄援助技術Ⅱ①	排尿障害のある対象者への看護援助と、膀胱留置カテーテルを安全に扱うための方法とその根拠を学ぶ。	鈴木	講義
15回	排泄援助技術Ⅱ②	膀胱留置カテーテルを安全に留置し、排尿を持続させる技術を学ぶ。	鈴木、他	演習

学 習 課 題	
※レポート課題の提出や配点は、別途知らせる。 第1回課題（事前）：感染予防の意義と基礎知識について、教科書や資料を参考にして理解する。 （事後）：感染予防に関する文献を読んで、学んだことおよび自分の考えを記述する。 第2回課題（事前）：滅菌手袋の扱い方について、教科書や資料を参考にして理解する。 （事後）：滅菌手袋の着脱のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。 第3回課題（事前）：検査の実施方法や留意点について、教科書や資料を参考にして理解する。 （事後）：検査時における看護師の責任と役割について自身の考えを論述する。 第4・5・6回課題（事前）：採血可能な静脈の部位と解剖学的特徴を確認する。 （事後）：真空採血管を用いた静脈血採血のチェックリストで、自己の技術を評価し提出する。 第7・8回課題（事前）：薬物療法の基礎知識を復習する。 （事後）：与薬を受ける対象者のアセスメント項目を整理する。 第9・11回課題（事前）：皮下・筋肉内注射の部位と実施方法を確認する。 （事後）：皮下注射のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。 第10・12回課題（事前）：点滴静脈内注射の部位と実施方法を確認する。 （事後）：点滴静脈内注射のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。 第13回課題（事前）：事例の対象者に適切な援助方法について、1～12回の学習内容を参考に整理する。 （事後）：事例の対象者に対する具体的な援助計画を完成に近づける。 第14・15回課題（事前）：排尿のメカニズムについて復習する。 （事後）：膀胱留置カテーテルの挿入・留置の技術のチェックリストを用いて、自己の技術を評価し提出する。	

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。